

村のがまだしモン

No.12

村に応援いただいている
派遣職員の方を紹介します

山田 孝広主幹 (大分県)

今年度4月より、土木技術の派遣職員として大分県から赴任致しました。建設課に所属し、公共土木施設災害復旧事業等に従事しております。

着任直後は、土地勘がないため村民の方々が役場に来られた際には住宅地図を片手に手探りの状態でしたが、半年経ち幾分対応できるようになりました。

平日は単身赴任をしていますが、長男(中1)が剣道次男(小4)がソフトテニス部活やクラブを始め、週末に自宅に帰った際は、九州内の試合の送迎等で公私共々多忙な状況です。

(子供の成長が目に見えて嬉しい限りですが)南阿蘇村の早期復旧・復興を目指し、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

座木 伸吾係長 (大分県)

さて、私の名前はなんと読むでしょう。か。正解は……

「ざき」と言います。非常に珍しい苗字ですが、生まれも育ちも佐賀県です。

熊本県に座木姓の方はいないと思われるため(大分県にもいません)、電話の際、何回も聞かれなおりますので、「さしすせそのさにテンテンのざき」と最近ほぼ毎日言っています。ぜひ皆さん覚えていただけるとありがたいです。今年度の4月より大分県から公共土木災害復旧支援のため、建設課にまいりました。

村が管理する村道・河川で被災した箇所の災害復旧業務を担当しております。微力ではありますが1日も早い復旧が出来るよう頑張っておりますので、よろしくお願致します。



陣内 康一郎先生 (福岡県)

今年度より、復興支援加配として福岡県中間市より参りました。南阿蘇西小学校では、1・2年生の学習支援を担当しています。

子ども達の学力向上のため、最後のご奉仕と思われ派遣者の一人に加わりました。南阿蘇西小学校の子ども達の素直さや先生方のあたたかさに助けられ、気持ちよく日々の学習活動に取り組んでいます。

南阿蘇の水、温泉、新鮮な野菜など、日々の生活にも充たされ、残り半年の教員生活を充実したものにしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願致します。

大谷 誠先生 (兵庫県)

今年度より復興支援加配として兵庫県より派遣されてまいりました。南阿蘇西小学校で高学年の算数少人数指導と他教科のチーム・ティーチングを担当しつつ、子どもたちの心のケアと防災教育の推進に携わっています。

阿蘇の雄大な自然、おいしい水と野菜、芯から温まる温泉、そして素朴でやさしさあふれる方々との交流。すべてが私の癒しとなり、今や「阿蘇大好き人間」となって日々頑張っています。よろしくお願致します。



大谷先生(写真左)と陣内先生(写真右)

編集後記

今年の夏は暑かったなと思っていると、いつしか冬の気配を感じるこの頃です。南阿蘇の一番美しい景色が見られる時期で南阿蘇の美しい農産物がいただける時期でもあります。

被災した農地・山林の事を考えると実りの秋を喜んではいられない状況です。私たち議員も来年は農地・農道の復旧が進むよう努力していきます。来年の秋が一層、実りの里になりますように。

議会広報特別委員会

委員 笠野真喜

議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎
副委員長 太田吉浩
委員 笠野真喜

委員 今村真喜
委員 今村竜喜
委員 今村辰郎
委員 今村輝宏

発行責任者

議長 荒牧俊一